

大島 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：工藤 和起

使用教科書：（『高等学校 公共』帝国書院）

教科 公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】選択・判断の手掛かりとなる概念や現代の諸課題を理解し、諸資料を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身
【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、合意形成や社会参画を視野に入れて構想し、議論する
【学びに向かう力、人間性等】諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国民主権を担う公民として協力し合うことについて自覚など

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期と社会参画 【知識及び技能】 キャリア形成がよりよい社会形成に結びつくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間を作ること多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 当事者意識をもち社会的人間性を獲得する。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	宗教・思想・伝統文化と社会 【知識及び技能】 知的蓄積を通し、思索するための概念や理論を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料の学習を通じ生き方を考え表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 意見表明に対し論理的対話の基礎をつくる。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	社会の基本原則と憲法や法の捉え方 【知識及び技能】 公共的な空間の基本的原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間の基本原則について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分と違う立場の意見も考慮して取組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	私たちと政治 【知識及び技能】 社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、築かれるものであることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できる。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	市場経済のしくみ 【知識及び技能】 市場経済システムを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 主題を設定し、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できる。	・指導事項 ・教材 ・一人2 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	豊かな社会の実現 【知識及び技能】 経済活動と個人の尊重の必要性を理解する。 【思考、判断力、表現力】 主題を設定し、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できる。	・指導事項 ・教材 ・一人2 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	国際経済の動向と格差の是正 【知識及び技能】 公正かつ自由な経済活動により資源の効率的な配分がなされることを理解する。 【思考、判断力、表現力】 主題を設定し、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会形成へ参画する態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人2 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	社会における諸課題の解決 【知識及び技能】 資料から情報を調べる技能を身に付ける。 【思考、判断力、表現力】 公共の精神をもち、意見を表明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の設定から解決を仲間と協働して行う。	・指導事項 ・教材 ・一人2 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 70

大島(定)高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：工藤 和起

使用教科書：（『高校生の地理総合』帝国書院、『基本地図帳』二宮書店）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と歴史との関連を理解し、様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけるよう

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、構想したことをを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を解決する態度を養い、多面的・多角的な考察や他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚を；

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想・説明・議論する力を養う。	地理や歴史に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図や地理情報システムでとらえる現代社会 【知識及び技能】 地図の読み方や時差、地図や地理情報システム(GIS)を用いる基礎的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて地図やGISを用いる方法を自前びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 地図情報システムや、そこから派生する技術の用いられ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 特定の課題について、地図情報システムの活用の方法を多面的・多角的に思考できる。 定期考査	・教科書 ・地図帳 ・地球儀 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・地球儀と地図や、紙の地図とデータの地図のメリットとデメリットを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、その多様性や地理的要因を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 自他の文化を尊重し、国際理解をはかることの重要性を説明できる。 定期考査	・教科書 ・地図帳 ・映像資料 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・状況に応じて最適な地図システム・地図の形式を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 東アジアの経済発展と生活文化の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済と文化の変容の関連を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・多様性の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ヨーロッパの様々な地域や文化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・中国や朝鮮半島について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	3
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・世界の諸地域について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ヨーロッパについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域・文化の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
2 学 期	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アメリカ大陸の社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他の国々を理解し受容する態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・アメリカ大陸の社会について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
3 学 期	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地の問題に、必要な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地の問題を主題を設定して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害と防災 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 自然災害の地域性を踏まえた知識を得る。 【思考・判断・表現】 災害をGISなどの情報処理を用いて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地理的な課題解決に向けた手法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 地理的な課題について、多面的・多角的に考察、構想して、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域の未来を考えて取り組み 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
				○	○		1
							合計
							66

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

单位数： 2 单位

使用教科書：（『新選 歴史総合』東京書籍

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、構想したことをを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を解決する態度を養い、多面的・多角的な考察や他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚を習得する。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察により、文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 資料を活用し情報をまとめる技能を 習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会の変化を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し協働して取り組む。	・中学校段階の歴史学習の振り返りを適宜行いながら進める。 ・教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能は問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・18世紀の東アジアと世界各地のつながりに ついて、国同士の貿易関係をもとに説明でき る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	国民国家と明治維新 【知識及び技能】 立憲体制と国民国家の形成を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の特徴を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し協働して取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能は問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・様々な革命により、社会や国家が変容した 結果が人々に与えた影響を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	国際秩序の変化や大衆化への問い (1) 【知識及び技能】 国際関係の緊密化、大国の台頭の資 料を読み取りまとめる。 【思考力、判断力、表現力】 生活や社会の変化を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習に て確認する。 【思考・判断・表現】 ・二大強国の出現によって発生した国際情勢 の変化を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	16
2 学期	定期考査			○	○		1
	経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 国際協調体制の動揺を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 際協調体制の動揺の要因などを多面 的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し協働して取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習に て確認する。 【思考・判断・表現】 ・各国で恐慌への対応に違いがあったこと と、国際秩序への影響の関係を説明すること ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	冷戦と世界経済(1) 【知識及び技能】 アジアに新たな国家等が形成された 背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 大戦の複合的な性格を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し協働して取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習に て確認する。 【思考・判断・表現】 ・冷戦構造の形成の中で国際関係にはどのよ うな変化が起こったか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
3 学期	世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】 諸課題に関わる歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 事象の原因と結果を関連付けたり考 察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し協働して取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習に て確認する。 【思考・判断・表現】 ・様々なテーマに対して、問題の原因・結 果・影響を論理的にまとめて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	合計						70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

数学

科目 数学Ⅰ

教科：数学

科目：数学Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：片柳 仁美

使用教科書：（数研出版 新 高校の数学Ⅰ）

科目 数学Ⅰ

の目標：数と式、2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを理解できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	計算の優先順位を理解し、その優先順位の通りに数の計算、分数の計算ができるようになる。	第1章 数と式 計算の基本	【知】四則が混じった計算の優先順位に従って計算できる。 【態】数の計算方法や単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、積極的に習得しようとする。	○		○	2
	単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解し、式の整理をすることができるようになる。ある数量について、文字を使った式で表現することができるようになる。	第1章 数と式 単項式と多項式	【知】単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解し、式の整理をすることができる。 【思】ある数量について、文字を使った式で表現することができる。	○	○		4
	指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算、式の展開ができるようになる。	第1章 数と式 展開	【知】指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算ができる。 【思】式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【態】多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	6
		定期考査		○	○		1
	因数分解の公式を利用することができるようになる。因数分解の検算に展開を利用できることを理解する。	第1章 数と式 因数分解	【知】因数分解の公式を利用することができる。 【思】たすき掛けの仕組みを理解している。 【態】因数分解の検算に展開を利用しようとする。	○	○	○	6
	平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、乗法、分母の有利化の計算ができるようになる。有理数・無理数の定義や実数の分類について理解する。	第1章 数と式 実数	【知】平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、乗法、分母の有利化の計算ができる。実数について理解している。 【態】実数を数直線上の点の座標として考察し、今までに学習してきた数の体系について整理しようとする。	○		○	6
		定期考査		○	○		1
2 学期	不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようになる。	第1章 数と式 1次不等式	【知】不等号の意味、不等式が値の範囲を表すこと、不等式の性質を理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【態】1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○		○	8
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		○	○	6
		定期考査		○	○		1
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		○	○	3
	放物線の形や軸、頂点について理解する。2次関数のグラフをかくことができるようになる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ（1）	【知】放物線の形や軸、頂点について理解し、グラフをかくことができる。 【思】2次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	10
		定期考査		○	○		1
3 学期	放物線の形や軸、頂点について理解している。 ⑦ 2次関数のグラフをかくことができる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ（2）	【知】放物線の形や軸、頂点について理解している。2次関数のグラフをかくことができる。 【思】2次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	4
	2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、2次関数の最大値、最小値を求めることができるようになる。	第2章 2次関数 2次関数の最大値・最小値	【知】 ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形でき、 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかき、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【態】2次関数の最大・最小の問題を、図をかくて視覚的に考察しようとする。	○		○	5
	2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができるようになる。	第2章 2次関数 グラフと2次不等式	【知】2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 【思】2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 【態】2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
		定期考査		○	○	○	1
				○	○	○	合計 70

2 单位

1 組

片柳 仁美

(数研出版 新 高校の数学Ⅱ)

数学Ⅱ の目標：

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	第1章 式の計算 式の展開と因数分解	【知】展開の公式と因数分解の公式を利用できる。	○			6	
		第1章 式の計算 分数式の計算	【知】分数式の約分、乗法・除法、加法・減法の計算ができる。 【思】分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。	○	○		6	
		定期考査		○	○		1	
	数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。	第1章 式の計算 複素数	【知】負の数の平方根を理解し、 i を用いて処理することができる。複素数の加法、減法、乗法の計算ができる。 【思】複素数の表記を理解し、複素数 $a+0i$ を実数 a と同一視できる。 【態】数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことと関連させ、考察しようとする。		○	○	○	6
		第1章 式の計算 多項式のわり算	【知】多項式の割り算の計算方法を理解し、計算することができる。 【思】多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。	○	○		6	
		定期考査		○	○		1	
2 学 期	標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 直線上の点	【知】数直線上において、2点間の距離を求めることができる。線分の内分点、外分点の意味を理解し、数直線上に内分点、外分点の位置を表すことができる。数直線上において、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 【思】線分の外分点の公式を、内分点と統一して捉えようとする。	○	○		7	
		第2章 図形と方程式 平面上の点	【知】座標平面上において、2点間の距離の公式を理解し、距離が求められる。座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。三角形の重心の公式を理解し、重心の座標を求めることができる。 【思】三角形の重心の座標の公式を導く際に、重心の性質を適切に利用できる。 【態】数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の場合を考察しようとする。		○	○	○	8
		定期考査		○	○		1	
	標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 直線の方程式	【知】 x 、 y の1次方程式が表す直線をかくことができる。通る1点と傾きがわかっていて直線の方程式を求めることができる。通る2点がわかっていて直線の方程式を求めることができる。 【思】通る2点がわかっていて直線の方程式を、通る1点と傾きがわかっていて直線の方程式を利用して考察できる。	○	○		7	
		第2章 図形と方程式 2直線の関係	【知】2直線の交点の座標を、連立方程式を解いて求めることができる。2直線の平行条件を理解して、それを利用できる。2直線の垂直条件を理解して、それを利用できる。 【態】2直線の平行・垂直の関係を、傾きに注目して考察しようとする。		○		○	8
		定期考査		○	○		1	
3 学 期	座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、それらの有用性を認識する。また、図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 円の方程式	【知】中心の座標と半径から円の方程式を求めることができる。また、円の方程式から中心の座標と半径を求め、円をかくことができる。直径の両端の座標から【思】円の方程式を求めることができる。 x 、 y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 円上の点と中心との距離が一定であることに着目し、円の方程式について考察することができる。 【態】 x 、 y の2次方程式が表す図形に興味・関心をもつ。		○		○	5
		第2章 図形と方程式 不等式と領域	【知】直線を境界線とする領域を図示することができる。円を境界線とする領域を図示することができる。連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思】不等式を満たす x 、 y の組を、座標平面上の点の集合としてみることができる。		○	○		6
		定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科		理科	科目	化学基礎
教科：理科	科目：化学基礎	単位数：3	単位	
対象学年組：第2学年				
教科担当者：（菊池 篤）				
使用教科書：（東書化基702 新編化学基礎）				
教科 理科	目標：			
【知識及び技能】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。			
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
科目 化学基礎	目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1編2章 物質の成分 ・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学と物質について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 物質の成分 2. 物質の構成元素 3. 物質の三態 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 調査事項を報告書やスライドにまとめ、発表する。	・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】 ・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	2編1章 原子の構造と元素の周期表 ・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 原子の構造 2. 電子配置と周期表 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・原子の構造、電子配置と周期表について見出しで表現している。【思考・判断・表現】 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	定期考査			○			10
2 学 期	2編2章 化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. イオンとイオン結合 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	1
	定期考査			○	○		1
	2編2章 化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 分子と共有結合 2. 金属と金属結合 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度とpH ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	8
3 学 期	定期考査			○	○		1
	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 中和反応と塩の生成 2. 中和滴定 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸・塩基と中和について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	10
	3編3章 酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
3 学 期	定期考査			○	○		1
	3編3章 酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 金属の酸化還元反応 2. 酸化還元反応の応用 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	16
	3編1章 物質量和化学反応式 ・物質量と化学反応式についての実験などを通して、物質量、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・物質量と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質量、化学反応式を見出しで表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質量、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・物質量と化学反応式についての実験などを通して、物質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・物質量、化学反応式について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
3 学 期	定期考査			○	○		1
	合計						105

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（ 菊池 篤 ）

使用教科書：（ 東書生基702 新編 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。	1 編 生物の特徴 生物の特徴	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。	1 編 生物の特徴 生物とエネルギー	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解できているか。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
				○	○		1
	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。	4 編 生物の多様性と生態系 植生と遷移	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解できているか。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解する。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。	4 編 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解できているか。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解できているか。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解できているか。また、生態系の保全の重要性を認識できているか。	○	○	○	6
	期末考查			○	○		1
2 学 期	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。	2 編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	2 編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とタンパク質	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	○	○	○	6
				○	○		1
	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	3 編 ヒトの体と調節 体内環境と情報伝達	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	○	○	○	6
	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを身に出して理解する。	3 編 ヒトの体と調節 免疫のはたらき	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを身に出して理解する。	○	○	○	6
	期末考查			○	○		1
3 学 期	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	探究活動	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	○	○	○	18
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 1 組

教科担当者：（1組：大山宗一郎）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊に継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	【運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合うようにすること。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献することなどや健康・安全を確保すること	・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・なわとび・おにごっこ ・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	8
	体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	・指導事項 スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さなどドーピング・スポーツと環境 ・教科書・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について【知識・技能】言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】課題を発見しよりよい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】自主的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	バドミントン 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。	・指導事項 サープ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	8
	サッカー 【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	8
2 学 期	バスケットボール 【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	8
	マット運動 【知識及び技能】回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技する。 【思考力、判断力、表現力等】技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組む、よい演技を競える。互いに助け合い教え合う、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどや、健康・安全を確保する。	・指導事項 回転系 巧技系 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわ	○	○	○	8
	テニス 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。	・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	8
	持久走 【知識及び技能】自己に適したペースを維持して走る。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること	・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
3 学 期	卓球 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。	・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	8
							合計 72

高等学校 令和6年度（3学年用）教科			保健体育		科目	体育
教科：保健体育		科 目：体育		単位数：	3	単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～		1 組				
教科担当：（ 1 組：大山宗一郎）		（ 組： ）		（ 組： ）		（ 組： ）
使用教科書：（ 現代高等保健体育		）				
教科 保健体育		の目標： 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたこと				
【 知 識 及 び 技 能 】		各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする				
【思考力、判断力、表現力等】		運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う				
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う				
科目 体育		の目標：				

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原理などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・なわとび・おにごっこ ・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、書いたり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】おないうえの体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	12
	体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。	・指導事項 スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニング ・教科書・学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について 【知識・技能】書いたり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】課題を発見しよりよい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	バドミントン 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【思考力、判断力、表現力等】自主的に取り組むとともに、フェェなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うなど、健康・安全を確保する。	・指導事項 サーブ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいようとしている。	○	○	○	12
	サッカー 【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェェなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	バスケットボール 【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 パス・ドリブル・シュート ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェェなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	12
	マット運動 【知識及び技能】回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを連続し課題とする。 【思考力、判断力、表現力等】技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェェなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うなど、健康・安全を確保する。	・指導事項 回転系 巧技系 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに教え合おうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	テニス 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェェなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うなど、健康・安全を確保する。	・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	12
	持久走 【知識及び技能】自己に選んだペースを維持して走る。 【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること。	・指導事項 フォーム・呼吸法 ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	卓球 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。 【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェェなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすると、互いに助け合い教え合うなど、健康・安全を確保する。	・指導事項 サーブ・フォア・バック ・教材 学習シート ・一人1台端末の活用 個人の学習計画や進捗を管理する	【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	12 合計 108

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 1 組

教科担当者：（1組：大山宗一郎）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	健康の考え方 【知識及び技能】国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 【思考力、判断力、表現力等】健康の考え方について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 健康の考え方となり たち・私達の健康の姿・健康に関する意思決定・行動選択・環境づくり ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】健康の考え方について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現している 【学びに向かう力、人間性等】健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	現代の感染症とその予防 【知識及び技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。予防には、個人の取り組み及び社会的な対策を行う必要があること。 【思考力、判断力、表現力等】現代の感染症とその予防について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 現代の感染症・感染症の予防・性感染症エイズとその予防 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。予防には、個人の取り組み及び社会的な対策を行う必要があることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】現代の感染症とその予防について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現している 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や病気の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 【思考力、判断力、表現力等】生活習慣病などの予防と回復について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 生活習慣の予防と回復・がんの原因と予防・がんの治療と回復・運動・食事・休養睡眠と健康 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や病気の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】生活習慣病などの予防と回復について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学期	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 【知識及び技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物などは心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。 【思考力、判断力、表現力等】喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 喫煙と健康・飲酒と健康・薬物乱用と健康 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物などは心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】運動食事休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であること。また、疾病を早期発見及び社会的な対策が必要であること。 【思考力、判断力、表現力等】精神疾患の予防と回復について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 精神疾患の特徴・精神疾患の予防・精神疾患からの回復 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】運動食事休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であること。また、疾病を早期発見及び社会的な対策が必要であることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】精神疾患の予防と回復について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	安全社会づくり 【知識及び技能】環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わる。交通事故には被害者はじめとした責任が生じること。 【思考力、判断力、表現力等】安全社会づくりについて課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】安全社会づくりについて課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 事故の現状と発生要因・安全な社会の形成・交通における安全 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わる。交通事故には被害者はじめとした責任が生じることについて言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】安全社会づくりについて課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】安全社会づくりについて課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	応急手当 【知識及び技能】適切な応急手当は障害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には正しい手順や方法があること。また、障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。 【思考力、判断力、表現力等】適切な応急手当について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現すること 【学びに向かう力、人間性等】適切な応急手当について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・指導事項 応急手当の意義とその基本・日常的な応急手当・心肺蘇生法 ・教科書 学習シート ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】適切な応急手当は障害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には正しい手順や方法があること。また、障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】適切な応急手当について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断するとともに、それらを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】適切な応急手当について課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計 27

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生涯を通じる健康 【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	生涯を通じる健康	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	生涯を通じる健康 【知識】 生涯を通じる健康について理解する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	健康を支える環境づくり 【知識】 身体への環境に対する適応能力や至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 【思考・判断・表現等】 健康と環境について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について関心をもち学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康を支える環境づくり	【知識・技能】 身体への環境に対する適応能力や至適範囲について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 健康と環境について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけた、選んだりするなどして、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

藝術 科目 美術 I

單位數： 3 單位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（日本文教出版 高校生美術Ⅰ）

教科 芸術科 美術

の目標： 授業を通して美術の事をもっともっと好きになる。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術Ⅰ の目標： 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅱ

單位數： 2 單位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（日本文教出版 高校生の美術Ⅱ）

教科 芸術科 美術

の目標： 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術Ⅱ の目標： 多様な表現方法を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵・ 彫	デ	映							
1 学 期	内容：陶芸 目標：作品制作を通じて、用の美の世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。 土や釉薬の特性を学び、陶器の成り立ちを知る。 菊練りなど、陶芸における基本的な動作を体得する。	○			○	知：粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや弓などの道具を活用して、作品制作している。 思：回転するろくろに置かれた粘土から、物の理を感じる事ができる。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	22	
		手回しろくろを中心に扱うが、慣れてきたら電動ろくろにも挑戦する。 自ら制作した作品を通して、日常で使用している陶器を大切に扱う心を養う。	○			○		○	○	○		
2 学 期	内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。	スマホを活用して、写真表現の可能性を追求する。 世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れている。				○	○	知：デジタル表現をアナログ表現に転換することができる。 思：自分の迫り求める作品を目指して、思考し、判断し、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	内容：木版画 目標：複製芸術の行程を学び、モノクロ表現の可能性を追求する。	モノクロ表現で原画を制作し、それを木版画に起こしていく。 彫刻刀の扱い方を体得し、彫による線の強弱など多様な表現に挑戦する。	○			○	○		知：版画にするには、原画をどのように転写すればよいか理解している。 思：自分の求めるイメージを目指して、思考し、彫刻している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○
3 学 期	内容：ポスター表現 目標：作品制作を通じて、広告美術の世界について理解を深める。	商業と美術の関わりに興味関心を持ち、広告に使用されているポスターについて理解を深める。 写真や色面構成などを効果的に活用し、明快な画面構成で伝える技術を学ぶ。		○		○	知：効果的な視覚伝達デザインの方法を取り入れている。 思：誰に何をどのように伝えるのか、その為にはどのような表現方法が適切であるかを考え、画面を構成している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	20	
											合計	
											72	

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

外国語 科目

單位數： 2 單位

)

の目標：

外国語によるコミュニケーションから必要な情報や考えなどを聞き取り、話し手の意図を的確に理解できる。

外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、的確に表現したり伝え合ったりできる。

言語活動を通して、情報や考えなどを理解し、外国語やその背景・文化、社会や世界、他者との関わりに着目してとらえ、コミュニケーションを図り、他者や社会に関わり、自己を成長させる態度を育てる。

の目標、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができ、概要や要点を目的に応じてとらえること、基本的な英語表現を理解し、場面に応じて活用することができる力を養う。	聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報を考え、気持などを論理性に注意して話すことや書くことによって伝え合うことができる力を養う。	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、自分の気持ちなどを簡単な英語を使って話すこととする姿勢、伝え合おうとする姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 せ よ	書					
1 学 期	中学の読習事項復習 Get Ready ①～④	・中学校の復習 ・大文字・小文字 ・フォニックス・アルファベット ・和製英語・英語になった日本語 ・曜日・月の名前、数字 ・クラスルームイングリッシュ ・品詞、辞書の使い方 ・ペボン式ローマ字 (PC入力練習)	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについて理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての表現を用いて、意見や考え、気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての表現を用いて、自分の意見や考え、気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	4
	Lesson 1 The beautiful Scenery (世界や日本の絶景) ①	・be動詞／一般動詞の「現在形」 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等 ・現在の表現を理解し、活用できる。 ・お気に入りの場所を紹介できる。 ・行ってみたい場所について進んで話し合い、意見交換ができる。	○	○	○	○	【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お気に入りの場所について考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	7
	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・あいさつ／自己紹介 ・Animals (I like ～.) ・Do you like ～? ・数字 (時計、誕生日)	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査		○	○	○	○		○	○		1
	Lesson 1 The beautiful Scenery (世界や日本の絶景) ②	・be動詞／一般動詞の「現在形」 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等 ・現在の表現を理解し、活用できる。 ・お気に入りの場所を紹介できる。 ・行ってみたい場所について進んで話し合い、意見交換ができる。	○	○	○	○	【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お気に入りの場所について考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	8
2 学 期	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・日常生活で使用する表現 (S+V) ・Body Parts ・What is your favorite ～? ・What is your hobby?	○	○	○	○		○	○	○	2
	定期考査							○	○		1
	Lesson 2 My Best Friend (ちびまる子ちゃん) ・過去の表現を理解し、活用できる。 ・大切にしている人などを紹介できる。 ・登場人物の気持ちになって、心の動きを話し合うことができる。	・be動詞／一般動詞の「過去形」 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の過去形について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活について、考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	11
	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・日常生活で使用する表現 (S+V) ・Do you like ～? ・What is your favorite ～? ・What is your hobby?	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	2
	定期考査							○	○		1
3 学 期	Lesson 3 Love for Dance (ダンスのちら) ・進行形や助動詞canなどの表現を理解し、活用できる。 ・絵や写真を見て思ったことや感じたことを表現できる。 ・世界のダンスのちからについて、進んで話し合うことができる。	・進行形／助動詞 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等					【知識及び技能】 進行形や助動詞について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 提示された写真や映像について、考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	11
	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・How was your day? ・Thank you for your ～. ・restaurant / order	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査		○	○	○	○		○	○		1
	Lesson 4 Endangered Species (世界の絶滅危惧種) ・to不定詞の表現を理解し、活用できる。 ・好きな動物について紹介できる。 ・絶滅危惧種を救うために何ができるのか、進んで話し合うことはできる。	・to不定詞 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 不定詞について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	English Conversation	【ALTとのTT授業】 ・What are you doing ? (進行形／描写) ・What are you good at ? ・Shopping	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	○		○	○		1
											合計 76

教科	外国語	の目標：
【知識及び技能】	外国語によるコミュニケーションから必要な情報や考えなどを聞き取り、話し手の意図を的確に理解できる。	
【思考力、判断力、表現力等】	外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、的確に表現したり伝え合ったりできる。	
【学びに向かう力、人間性等】	言語活動を通して、情報や考えなどを理解し、外国語やその背景・文化、社会や世界、他者との関わりに着目してとらえ、コミュニケーションを図り、他者や社会に関わり、伝え合おうとする態度を育てる。	
科目	英語コミュニケーションⅡ	の目標：

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成 ○経済生活をつくる ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学 期	○人の一生と被服 ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
3 学 期	○調理の基本 ・調理器具の扱い ○充実した生涯へ ・超高齢社会を生きる ・高齢期の生活 ・高齢社会を生きる	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和 6 年度（3 学年用）教科 家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭科

科 目： 家庭総合

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者： 宮内 叔子

使用教科書：（ 高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる ）

教科 家庭科 **の目標：** 授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合 の目標： 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面 dengan どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	真剣に授業に向かっている。

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○共に生きる ・ 社会保障制度と社会的連帯	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	○被服材料と管理 ・ 被服の素材 ・ 洗濯のしくみ	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	○被服の製作 ・ 被服の手入れと保管	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	○次世代を育む ・ 子どもの発達 ・ 子どもの生活	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	17
	・ 子育て支援と福祉						
	○食生活をデザインする	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	10
3 学期	・ 栄養バランスの良い食事 ・ 献立構成の手順	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	○住生活をつくる ・ 平面図の活用 ・ 安心で安全な住まい	・教材 教科書，ワーク，プリント 等 ・ 一人1 台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・ 授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・ 授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者： 田中将哉

使用教科書：（ 高等学校 情報Ⅰ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】問題の発見・解決の方法を理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を身に付けることができる。

【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報社会に主体的に参画することができる。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ワープロソフトの使い方	・ワープロソフトの使い方を知る ・ホームポジションを身につける ・タイピングの速度を向上させる ・文字配置を変更できるようになる ・レイアウトを変更できるようになる ・図表の挿入の仕方を学ぶ	・ワープロソフトを使えるようになり、タイピング速度を向上させることができたか。 ・文章のレイアウトを自在に整えることができるようになったか。	○		○	10
	コンピュータのしくみ	・コンピュータの五大装置について学ぶ ・ハードウェアのはたらきを知る ・コンピュータのスペックの調べる ・OSの種類と機能を知る ・ファイルシステムを理解する ・拡張子のはたらきを理解する	・ハードウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。 ・ソフトウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。	○			8
	表計算ソフトの使い方	・表計算ソフトの基本操作を学ぶ ・オートフィル操作をできるようにする ・数式や関数を使えるようにする ・グラフの作成方法を学ぶ ・回帰直線を用いて推定を行う ・グラフの注意点を学ぶ	・表計算ソフトをの基本的な技能（入力、オートフィル、数式、関数、グラフ）を身に付けることができたか。 ・表計算ソフトを用いて、効率よく問題を解決することができたか。	○	○		8
2 学 期	プレゼンテーションソフトの使い方	・ソフトの基本操作を学ぶ ・プレゼンテーションスキルを身につける	・プレゼンテーションソフトの基本操作を身につけることができたか。	○			4
	プレゼンテーション	・人に伝わる話し方を身につける ・プレゼンテーションの構想を練る ・人に伝わるスライドを作る ・本番に向けてリハーサルをし、スムーズに発表できるようにする ・聴衆の興味を引くプレゼンをする ・他者の発表を評価する	・人に伝わるプレゼンとはどのようなものか理解できたか。 ・人に伝わるスライドを作ることができたか。 ・聴衆の興味を引くプレゼンテーションを行うことができたか。 ・他者のプレゼンテーションを評価し、改善点を考えることができたか。		○	○	6
	ビジュアルプログラミング	・アルゴリズムを考えることの重要性を知る ・プログラミングの仕組みを理解する ・Scratchでプログラミングを行う ・コンピュータが動く仕組みを理解する ・よいアルゴリズムとは何かを考える	・コンピュータはアルゴリズムに従って情報を処理していることを理解できたか。 ・アルゴリズムを考え、ブロックでプログラミングをすることができたか。 ・アルゴリズムの良し悪しについて考察し、他者に説明できたか。	○	○	○	6
	デジタル情報の表現	・2進法の数え方に慣れる ・情報量の単位を理解し計算できるようになる ・2進数の足し算、掛け算ができるようになる ・2進数*10進数、2進数*16進数の基数変換ができるようになる	・情報量の単位を理解して、計算問題を解くことができたか。 ・2進数どうしの足し算、掛け算について理解し、計算問題を解くことができたか。 ・計算によって基数変換をすることができるようになったか。	○			6
	アナログとデジタル	・アナログ、デジタルとは何かを理解する ・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し説明できるようになる	・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し、説明することができたか。	○	○		4
3 学 期	文字、音声、画像、動画のデジタル化	・文字情報を屈ける仕組みを理解する ・文字コード表を読み取ることができるようになる ・文字コードの歴史や種類について知る ・文字化けとはどのような現象なのかを体験し、理解する ・音声、画像、動画のデジタル化の仕組みについて理解する	・文字情報を屈ける仕組みやその歴史を理解することができたか。 ・様々な情報が、標準化、量子化、符号化の手順でデジタル化されていることを理解し、他者に説明することができたか。	○			6
	プログラミング	・コンピュータは人間からの命令に従って情報を処理しているということを理解する ・プログラミングによってコンピュータに命令を行い、簡単な計算を自動化することができるようになる	・入出力、変数、データ変換などのPythonの基本操作を習得できたか。 ・簡単な計算をコンピュータが処理できる形にモデル化できたか。 ・基本操作を基に、簡単な計算を自動化する仕組みをつくることができたか。	○	○	○	4
	情報技術が社会に及ぼす影響	・様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。	・問題の発見を行うことができたか。 ・問題解決に向けて計画を立てることができたか。 ・計画に従って問題解決を実行できたか。 ・計画どおりにいかなかった際、軌道修正することができたか。 ・問題を解決したことを、客観的に評価することができたか。	○	○	○	8 合計 70

高等学校 令和6年度（1～3学年用） 教科

人間と社会 科目

教科： 人間と社会 0

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1～3 学年 組～ 組

教科担当者： （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ ）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒が意見交換し、自己の意見と異なる意見があること、自己と同じ意見でも理由が異なることを発見する。	体験活動を通じて道徳性を養い、自分自身の価値観に基づく判断基準を形成し、社会的現実にも照らしてよりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う。	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	○事前学習1 ・「人間と社会」で育成したい資質・能力や評価について説明する ・郷土の自然維持や環境美化の体験活動の意義について考える。また周囲の人々に配慮しながら安全に活動を行うための注意点について説明する。 ○体験活動1 大島の環境美化活動（三原山クリーンハイク） （1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島町ジオパーク 1 人間関係を築く （1）人間関係を築くことについて学ぶ （2）よりよい人間関係を築くために大切な考えについて討論する ・ケーススタディ あなたならどうする？で議論する	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	13
2 学期	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	○事前学習2 ・体験活動の意義と安全に「火の用心」を行うための注意点について ○体験活動2 地域社会の安全向上のための活動（夜間パトロール） （1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島警察署 2 選択し、行動する （1）「選択し、行動する」ことについて考える （2）決定と行動について考え、討論する ・ケーススタディ あなたならどうする？で議論する	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	13
3 学期	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	3 役割と責任 （1）なぜ「役割と責任」を果たすのでしょうか （2）「役割と責任」について議論する ・ケーススタディ あなたならどうする？で議論する	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	9 合計 35

高等学校 令和6年度（1～3学年用） 教科

総合探究 科目 総合的な探究の時間

教科：総合探究 科目：総合的な探究の時間 単位数：1 単位
対象学年組：第 1～3 学年 組～ 組
教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ ）

教科 総合探究 の目標：
【知識及び技能】 自己の在り方や生き方を考え、他社と協働的に取り組む経験を蓄積する。
【思考力、判断力、表現力等】 自らの課題を発見し、解決の方法を探究していく能力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】 横断的・総合的な課題に主体的に取り組もうとする。

科目 総合的な探究の時間	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
自己の在り方や生き方を考え、他社と協働的に取り組む経験を蓄積する。	様々な講座の中から選択した学習を通じて自らの課題を発見し、解決の方法を探究していく能力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】	横断的・総合的な課題に主体的に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	横断的・総合的な課題に主体的に取り組む。	・素描 デッサンを通して、対象を観察する力を養う。 ・将棋探究 将棋や囲碁を学び、先を見通し、考察する力を養う。	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	13
2 学期	横断的・総合的な課題に主体的に取り組む。	・映像探究 映画やアニメについて調べ、楽しさ、見どころを伝えあい、歴史や文化的価値について理解を深める。 ・ボードゲーム・チェス入門 チェスなどさまざまなボードゲームに挑戦し、興味のあるゲームについて調べ、発表をする。	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	13
3 学期	横断的・総合的な課題に主体的に取り組む。	・総合教養 地域探究として、大島の名物、特産品、名所、方言などを調べ、発表する。	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	9
						合計	35